

Otoshibe 太平洋側 落部地域



産業のもうひとつの顔をもつ地域

落部地域は、八雲町の太平洋側南部に位置し、北海道近代酪農発祥の地である八雲町にあって、落部地域は道南で唯一のもち米生産団地があり、また水産加工業も盛んで独特の産業を形成する地域です。

農家と漁家の付き合いが深く、落部地域の農家は八雲の農家には珍しく“浜気質”。農家は「海産物は買う物じゃなく漁師からもらうもの」、漁師も「農作物は買う物じゃなく農家からもらうもの」と言いきるほど浜と山が一体となった地域です。落部地域の基幹産業である農業・漁業は、後継者が多く、とても活気にあふれています。



太平洋噴火湾



遊漁船



ホタテ



ボタンエビ



ガスミノウの栽培



軟白長ネギ



日本海側

熊石地域



青い海と古の文化が継承されるまち

八雲地域（太平洋側）から、日本で一番短いとされる太平洋側と日本海側を結ぶ国道277号を車で40分ほど走ると、目の前に日本海が広がります。この日本海側の熊石地域は、明治初期から尾張藩徳川家による開拓が

始まった八雲地域に比べ、江戸時代初期の松前藩が開拓を始めた土地です。その歴史は八雲地域に比べ約300年も古く、八雲地域とは異なる文化を継承しており、同じ松前藩であった松前・江差と比べても独自の文化

をもつ地域です。

海洋深層水や日本海特有の水産資源を生かした漁業も盛んです。また、「熊石あわびの里フェスティバル」には道内外から多くの人が訪れます。



熊石あわびの里フェスティバル



熊の湯



青少年旅行村



磯釣り



スケウタラの水揚げ



あわび

